

# 京都市左京区総合庁舎整備等事業 建築レポート



左京区  
シンボルマーク

皆様、こんにちは、5月度の作業は、主に1階躯体の鉄筋及び型枠の組立作業を行いました。  
6月度も引き続き2階の躯体工事を行う為、鉄筋、型枠材及び生コン車が多く出入りします。  
ご迷惑をお掛けしますが、細心の注意を払い安全最優先で工事を進めて参りますので、皆さまのご理解、ご協力よろしくお願い致します。  
今月は、左京総合庁舎の鋼製型枠(デッキプレート)についてお話しします。

## ベニヤと鋼製型枠

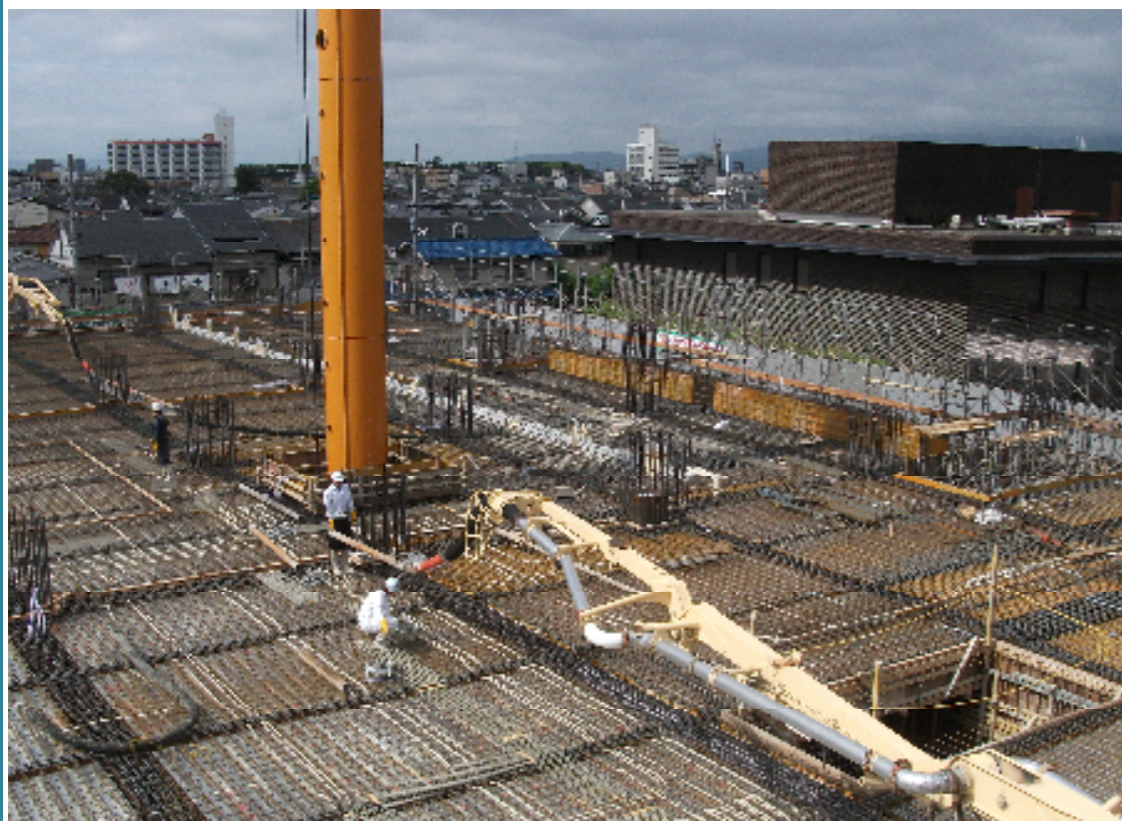
鉄筋コンクリートの建物はベニヤ板で型枠を建て、そこにコンクリートを流し込み建物を造っていきます。型枠に使用されるベニヤは主に南洋材のラワン等から作られています。  
このベニヤを床版の型枠にしたり、パネルに加工して壁の型枠に使用しています。  
パネルに加工することにより何回かは転用して使用できますが、やはり木材なので痛んできます。痛んだものは殆どが焼却処分されます。  
当作業所では、熱帯雨林保護の為、床版型枠ベニヤの代わりに鋼製型枠(デッキプレート)を積極的に使用しています。  
熱帯雨林保護に合わせてベニヤ焼却時に発生するCO2の削減にもなります。  
※デッキプレートは工場で鉄筋を溶接した状態で搬入される為、工程の短縮にもなります。

## 完成予想パース



## 全景写真

東側の先行工区では、2階躯体の工事にかかっています。



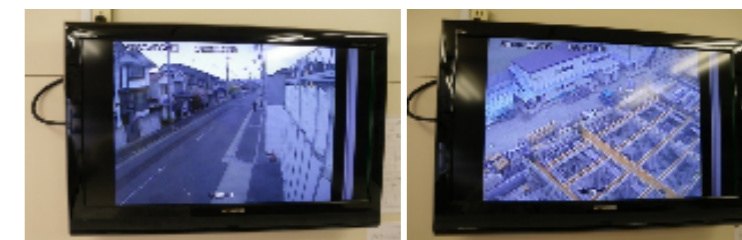
【鋼製型枠使用状況】  
床版型枠としてベニヤの代わりに使用しています。



【搬入状況】  
工場製作されトラックで重ねた状態で搬入されます。



## 安全及び防犯対策



前面道路の映像

タワークレーンからの映像

当作業所では前面道路と現場内にビデオカメラを設置し、事務所内のモニターで安全作業の監視をしています。